

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第4回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成21年12月17日（木）午後7時00分～9時10分
開 催 場 所	ボランティアセンター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（座長）渡辺龍也、（副座長）杉澤幹生、高木寛之、（委員）飯塚十日子、伊藤輝男、木村祐子、鴻田臣代、小西喜芳、佐々木久子、塩田和行、藤崎由美子、藤本信子、ボランティアセンター長 岡本茂義 （欠席）安島敏市、中島秀雄 （事務局）地域振興課長、地域振興課主査、地域振興課副主査
報 告 事 項	1 第3回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について 2 その他
議 題	議題1 市民協働のまちづくりについて 議題2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	第4回武蔵村山市市民協働推進会議 報告事項1 12月25日（金）までに訂正等の連絡をする。 報告事項2 その他 市民協働のためのパワーアップ講座を実施する。 議題1 市民協働のまちづくりについて 協働事業とは別に団体育成について、次回会議の事前に送付したい。 議題2 その他 第5回会議 1月29日（金）午後7時から開催する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ◎印：センター長 ●印：事務局	第3回武蔵村山市市民協働推進会議 報告事項1 12月25日（金）までに訂正等の連絡をする。 報告事項2 その他 ●市民協働のためのパワーアップ講座について、第1回が2月18日、第2回が2月25日に開催する。開催にあたって、木村委員に講師や内容について調整していただいた。周知は、2月1日の市報で参加者を募集し1月下旬から各施設にチラシを配布する予定である。 議題1 市民協働のまちづくりについて □提案制度については、事前に配布してある中で今日は第1回目のため、抽象的ではなく全体における制度の核となる議論について、事業の流れを進めていく。 ●協働事業提案制度として事前に配布している資料について、22年度から導入した場合の実際の流れをまとめたものである。また、スケジュールについても事務局案として提示したが、疑問点等をこれから委員皆様の話し合いの中で議論していただきたい。 □まず、1の目的、2の基本原則について、御指摘があれば御意見をいただきたい。 ○協働事業提案制度の目的の中で、自治会は市民活動団体の任意団体なので入らないのか。 ○自治会の地域の中で、見回りなど主体的に行っているので入った方がよい。 ○公益法人で企業が社会貢献活動をした場合ははいらぬのか。 □企業として、営利を目的としている場合は入らないこととなっている。

○NPOという言葉は、NPO法人格を持っていないと市民活動団体として含まれないと思っている方がいるのではないか。

□法人格でなくても、全部総称しているので入ることとしている。

●まちづくり研究会報告書の3頁、4頁で、協働の定義について記載されている。

○中身をチェックした場合に公益法人で100万位なら手を挙げる団体があるのかと思う。

○公益団体の中で、あまりに広げすぎても本当に必要な地域の大切なものはじかれてしまう危険性があるのではないかと懸念する。

○まずは、NPO団体という範囲でスタートしてみてもどうか。

□次に、3事業の流れについて検討をお願いする。

○一次審査が9月上旬、二次審査(公開プレゼンテーション)9月下旬でその後関係する担当部署との詳細協議の後に、10月上旬に選考結果を市長へ報告となっているが、市長へ報告の前に最終選考を入れなくてよいのか。

○審査では、一週間は厳しいが二週間はあげた方がよいのでは。

●一次審査の段階で、ふるいにかけて、二次の段階で6頁の公開プレゼンテーションを経て審査基準により点数を出して、一定の点数を獲得した団体は二次審査通過となる。二次を通過したものは、事業として採択される。

□2本立てで言ったらよいのでは。

一つは、今まで議論したこの方法でよいと思う。

二つ目は、まちづくりを支援する方法で実施してはどうか。

●A(団体支援)という制度とB(協働事業支援)という制度に分けることは良い方法だと思う。

○ボランティアセンターでは協働について何か考えているのか。

◎现阶段ではそこまで考えていない。一つひとつ段階を踏んでやっていかなければいけないのですぐには難しい。また、社会福祉協議会事務局とも調整をしなければならない。

○ボランティアセンターが窓口になって、アドバイスしてもらえないのか。

◎今回初めてこの会議に参加したので、会議の内容についても分からないので、一度持ち帰って検討しなければならず、いますぐ即答はできない。

●来年度はボランティアセンターが指定管理になって2年目になるが、市民活動団体が支援する拠点として、さらなる充実を期待したい。将来的には、中間支援団体として活動していただきたい。

◎個々の趣旨に沿って色々なボランティアが登録されているので、そういう方々の支援は可能だと思う。

○こういう事業をやりたいと思ったときに、市に行った方がよいのか。ボランティアセンターに行った方がよいのか。

●両方である。市民団体の活動支援を行政としてやらなければならない場合と、ボランティアセンターが行う場合がある。ボランティアセンターは、土、日曜日も開館しているので利用しやすい。一か所より複数あったほうが良い。

◎今の現状は有期職員2人、正規が1人の3人態勢でやっているなので、正規職員が少なく難しい面もある。

○この制度の流れに従っていった場合、市は追い付いていけるのか。

●市では申請書の書き方を1から10まですべて教えることは不可能。ただ情報提供としてこういうところに行った方がよいとのアドバイスはできる。また、市とボランティアセンターだけが相談相手だけではなく、NP

	<p>○ネットワークの各団体を紹介することができる。</p> <p>○要するに窓口はどこでやるのか。</p> <p>●最終的には、地域振興課で交通整理を行う。</p> <p>提案制度について、例えば花いっぱい運動を市に相談した場合に、道路公園課へのつなぎができる。</p> <p>○提案募集をする前に一般市民等全ての団体に情報を流して説明会を開催した方がよいのでは。</p> <p>●募集受付前には、提案制度についての説明会を考えている。</p> <p>○市の出前講座は実施しているのか。</p> <p>●例年どおり実施している。</p> <p>○ボランティアセンターでは、今年度、次年度以降どこまで市民活動の支援ができるのか教えていただきたい。新たに何かしら作らなければいけないと思うが、ビジョンが見えないので教えていただきたい。</p> <p>◎今後、ステップを踏む上で事業計画を練り上げる中で、協働支援について調整しながら行っていくことは考えている。</p> <p>○我々には時間がないので、まずは地道にやるのか、大きくジャンプアップするのか、難しければ次の手を考えなければならないので、いつ頃までに事業計画は出せるのか。</p> <p>◎大きくジャンプアップをするのは難しい。色々と事業を行っているので行政と調整していかなければならない。</p> <p>□計画的に、段階を踏んで実施していただきたい。</p> <p>○市の予算は単年度予算と思うが、6月の補正予算はどういうことなのか。</p> <p>●6月の補正では、審査会委員の報酬として謝礼の部分を予算化しようと考えている。</p> <p>議題2 その他(次回会議開催日程)</p> <p>●次回会議は1月29日(金)午後7時から、ボランティアセンター会議室で開催する。</p> <p>●次回以降は、4の提案できる方(応募資格)を見ていただく中で、提案制度が本市のイメージにあったもので進めていただきたい。先ほどの協働事業とは別に団体育成について事前に送付したい。</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 []	傍聴者： _____ 1 人
-------------	---	----------------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： _____)
--------------	---

庶務担当課	市民生活部 地域振興課 (内線： 224)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)